

フリーペーパー ペッコ

PECCO



VOL.59 2022.5

100周年
はじめました。



岩手県立図書館
二代目館
【1968年】

昭和43年2月に
岩手公園内に
誕生しました！
(現盛岡城跡公園内)



屋根の上にある
屋根棟飾り「ふたば」は
舟越保武氏の
作品です。



県民の皆さん、
お久しぶりです。
お変わりないですか？

…現役時代の私。



岩手山を
かたどった
屋根にも注目！



2011年7月からは
「もりおか歴史文化館」
に生まれ変わりました！



二代目館の入口で
皆さまをお迎えしていた
カモシカさん。
今は図書館内のある場所で
元気にしていますよ。



設計者は世界的に
有名な建築家
菊竹清訓氏に
よるものです。



発行：岩手県立図書館

そめちゃんがゆく!

豆知識

岩手県立図書館創立100周年

教えて! 豆知識!



岩手県立図書館創立100周年を迎える2022年。当館ゆかりの先人たちがナビゲーターとなって館内のあちこちで岩手県立図書館の歴史やサービスについての豆知識を紹介しているのをご存知ですか?そこで今回は、その先人たちの岩手県立図書館にまつわる豆知識をそめちゃんをご紹介します!



はら たかし
原 敬
1856 ~ 1921

盛岡市出身の外交官、政治家。第19代内閣総理大臣。首相在任中の1918年(大正7)、盛岡を訪れていた際に当時の盛岡市長、岩手県知事に**図書館設立を助言**。設立にあたり一万円を寄付した。

当時の盛岡市長宛ての手紙の中で計3回も、「書庫だけは最初から広くつくるように」と助言してるの。これに従い別棟に3階建ての書庫が建てられたんだよ!



にとべ せんかく
新渡戸 仙岳
1858 ~ 1949

盛岡市出身。郷土史家、教育者。郷土史史料の収集を精力的に行い、1949年(昭和24)に蔵書の多くを岩手県立図書館に寄贈。**新渡戸文庫**として利用されている。

ちなみに新渡戸稲造さんとは、なんの関係もないみたい。



豆知識

啄木の盛岡高等学校時代の校長先生。啄木が盛岡時代に発行した雑誌「小天地」にも寄稿するなど、啄木の世話を色々と焼いている。



先生お元気ですか~?



いちのくら のりふみ
一ノ倉 則文
1891 ~ 1961

東和賀郡小山田村(東和町)生まれ。実業家・郷土史家。岩手県立図書館の嘱託職員時代に、新渡戸仙岳寄贈資料の整理を行った。岩手県立図書館の**古文書等整理の土台を作った人**。

おおた こうたろう
太田 孝太郎
1881 ~ 1967

盛岡市出身の実業家・東洋史学者・郷土史家。当館所蔵の**新渡戸仙岳寄贈資料の整理**にも携わり、その縁で自らも多くの資料を寄贈。

豆知識

現在の岩手日報の題字を書いた人。戦前の岩手日報社の社長を務めたことも。また、中国古印のコレクターとしても有名で、そのコレクションは岩手県立博物館にある。

収集した印は1000点以上! その中には希少な隋代の印や珍しい玉印もあって、世界でも有数のコレクションなんだって♪



よしだ こよう
吉田 孤羊
1902 ~ 1973

盛岡市出身の石川啄木研究者。岩手県立図書館嘱託司書、盛岡市立図書館長を務める。彼の石川啄木コレクションは県立図書館に寄贈され、現在の**「啄木文庫」の母体**となった。

色々研究していただいて。



豆知識

鈴木彦次郎は、川端康成の初恋の人とされる伊藤初代の実家(岩谷堂)に結婚の許可を貰いに行く際に同行した。

お友達



あの時は世話になったね。

川端康成

結局このロマンは実を結ばなかったそう。でも初代さんが川端文学に与えた影響は大きいみたい。

すずき ひこじろう
鈴木 彦次郎
1898 ~ 1975

作家。東京に生まれ、盛岡で育つ。**7代目 岩手県立図書館長**。『街もりおか』や『北の文学』の創刊に携わったほか、盛岡文士劇を立ち上げるなど、今にも続く盛岡の様々な文化面の礎を築いた人の一人。



原敬

「平民宰相」の虚像と実像

清水唯一郎 著 / 中央公論新社 出版

2021年に没後100年を迎え、初の「平民」首相となった岩手県出身の政治家・原敬。幼年期から記者・外務省を経て政治家となり、首相に就任してから亡くなるまでの生涯が描かれています。彼の抱えてきた苦悩や挫折、当時の国民・メディアから見た原敬の印象についても触れています。



ごめん買っちゃった マンガ家の物欲

吉田戦車 著 / 光文社 出版

岩手県出身のマンガ家・吉田戦車氏が「欲しくて欲しくて、いても立ってもいられなくなるもの」を買いまくります。ウルトラマンオープンの食玩や辛いカレー粉など、著者の「欲しいもの」がイラストと共に掲載されています。2018年発行の単行本が文庫本化するにあたって、加筆修正されたものです。



宮沢賢治と文字マンダラの世界 心象スケッチを絵解きする

桐谷征一 著 / コールサック社 出版

宮沢賢治のマンダラ観を求めて、賢治の法華信仰の理念と実践、賢治マンダラ世界の社会展開などを仏教学者である著者が論じます。詩や童話など文学作品のみならず書簡類、雑纂、覚書も取り上げられています。「文字マンダラ」の絵解き解説、賢治の宗教思想と文学略年譜が収録されています。



無刑人 芦東山

熊谷達也 著 / 潮出版社 出版

近代刑法論の先駆者として評価された岩手県一関市出身の芦東山。彼は、江戸時代中期に24年間の幽閉生活を送りつつも、刑法思想の根本原理を論じた「無刑録」を著しました。己の考えを貫き通した生き様が描かれた歴史長編小説です。雑誌月刊『潮』で連載されたものを加筆修正し単行本化しました。



災害公営住宅の社会学

吉野英岐 編著 / 東信堂 出版

東日本大震災後の被災地には約3万戸の災害公営住宅が整備され、被災者は慣れない住宅環境下で生活を営んでいます。住宅復興制度の背景・在り方と、居住者の生活実態に関する調査結果の分析を通して、災害公営住宅の今後の課題と展望を可視化し、「住宅復興」とは何かを問う一冊です。



氷柱の声

くどうれいん 著 / 講談社 出版

語れないと思っていたこと。言葉にできなかったこと。東日本大震災が起きた時、盛岡の高校生だった主人公、伊智花の10年間と周囲の人々の震災での経験や思いが描かれています。文芸誌『群像』4月号に掲載されたものを単行本化した著者初の小説、そして第165回芥川賞候補作にも選ばれた話題作です。